

# 青年文學叢書

編一 文學攻究法

編二 美文作法

編三 美學大要

編四 論文作法

編五 韻文作法

編六 青年と文學

著者 江藤桂華君

全部六冊完成

青年文學叢書の著者は

文學を専攻して、三文學に精通す

青年文學叢書の文章は

流麗にして暢達、趣味極めて饒也

青年文學叢書の所説は

平易にして明快一讀直に解すべし

青年文學叢書の目的は

能文健筆の士たらしむるにある也

青年文學叢書の体裁は

美ならざるも實に過ぎず中を保つ

青年文學叢書の定價は

極めて廉、今の出版界に比を見ず

全部六冊 五拾貳錢

一部拾錢◎郵税各二錢

## 嶺雲搖曳

全二冊  
定價四十錢  
郵税六錢

九版品切、目下十版印刷着手中。

新聲記者編

## 若葉集

定價拾五錢  
郵税二錢

青年文士の作數十篇を掲げ、叙記、叙情、評論の諸篇、皆特殊の面目を持して、他の模倣す可からざるものあり、明窓淨机の友とすべき也。

田岡嶺雲君著

左記の書籍は品切にて、一部を止め

ず、遺憾乍ら御注文を謝絶す

扇頭小景 花ふゞき

春風秋聲 新鉢詩集

青年文叢 二葉集

翠嶺白雲 雅正軒詩話

文注

書籍注文の際は書名冊子  
號數等を明記して所定の  
定價郵税を添へらるべし

會照

を要する時は三錢切手を  
封入するか又は往復端書  
を以て其旨申込まるべし

書狀

書狀の文字は最も明瞭に  
書せらる可し文字の不明  
なるは相互に失ふ所多し

券郵

切手代用にて拂込まるゝ  
時は二錢又は一錢切手に  
て必ず一割を増さる可し

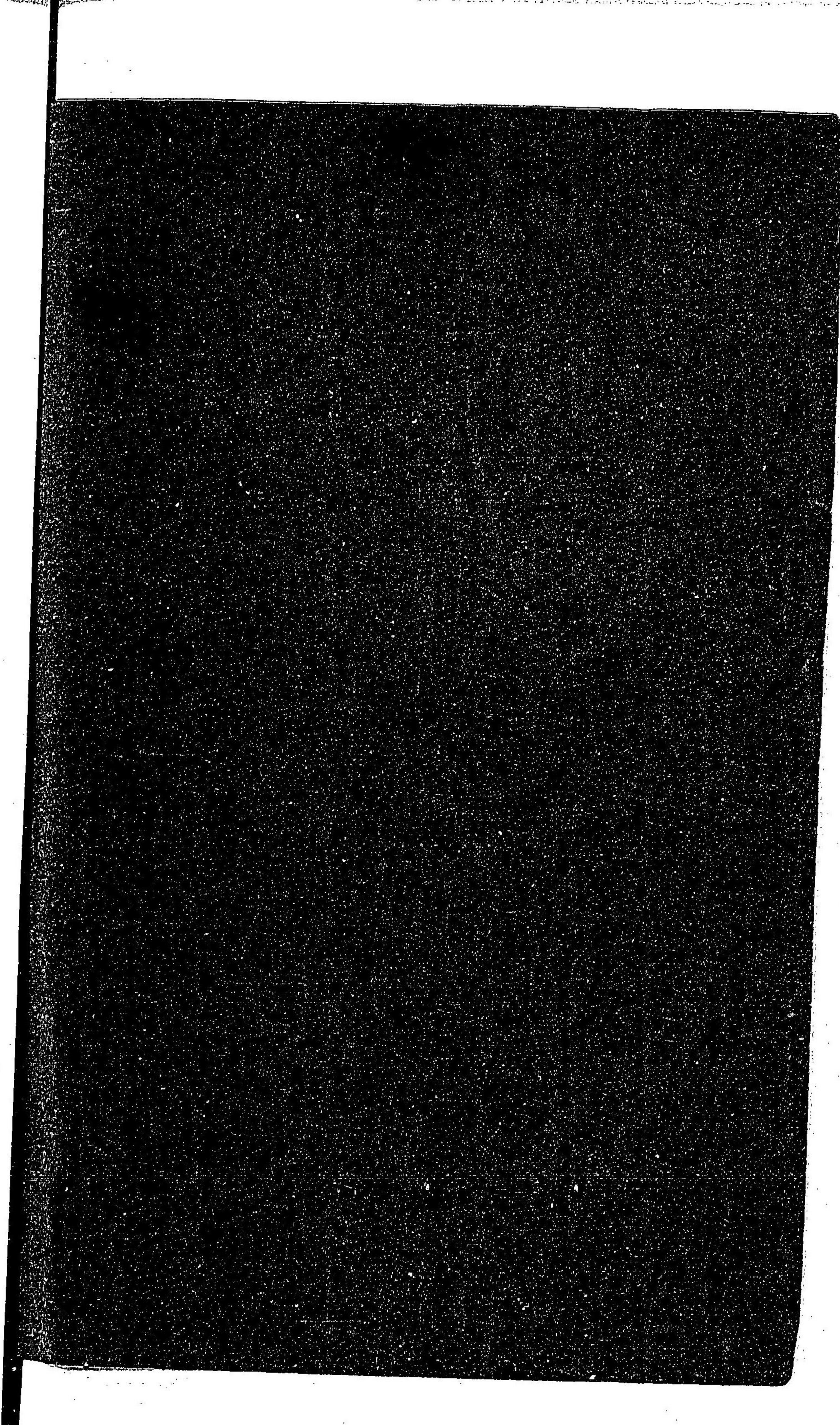
# 文章通信授

我國に於ける作文教授法の不完全なるは、中等の教育を受けたる者の作、なほ破格不法讀むに堪へざるもの多きを以て知るべし。是れ學界の大缺點たるのみならず、延いて邦家の文運を阻害すること實に少からざる也。本會は此必要によりて起りたるもの已に二十餘年の歴史を有して基礎益々固く、生徒天下に滿ちて志望の一端に達するを得たり。講師及び學科は左に掲ぐる所の如くにして、苟くも作文の資料となり、研究の參考となるべきものは、悉く網羅して些の遺憾なきを期し、文章の添削は丁寧懇切以て生徒をして斯道の淵奥に通せしむ。

◎ 東京市神田區錦町二丁目六番地 大日本文章學會 ◎

文章作法	文學士久保天隨	新學	餘生口述
修辭學	文學士内海月枝	日本文人傳	江藤桂華
日本文典	文學士杉敏介	英文評釋	江藤桂華
審美學	文學士十時彌	日本文章史	松本道別
國文評釋	文學士大町時	故事釋義	大沼鶴林
國文評釋	文學士久保町時	熟語分箋	大沼鶴林
國文評釋	文學士内海保町時	文章漫話	山沼鶴林
漢文評釋	文學士大沼鶴林	明治名家文粹	本會編纂
漢文評釋	文學士小沼鶴林	新選美評類纂	本會編纂
言文一致	帝國大學		

規則書は往復端書にて申込められ



KG314  
41

300687-000-4

KG314-41

三十棒

新声社同人/著

2版

1901.3

DBB-0003



# 出版自録



## 刷新の後の新

江湖の同情はいかにあり、刷新の新聲に注がれたる乎  
第一號は一月十八日(發行後二日)に東京市中一部を  
見ざるに至り、第二號は更に數千部を増刷して、今や純  
文學雜誌中、第一の發行部數となれり。読友天下に滿ち  
て一言一語、四方の反響を得べきを思へば、快意に云ふ  
可からず、創刊以來茲に六歳、寸を得て尺に進み尺を得  
て丈に進し、幾多の猜忌と排擠を受けて遂に屈せず、今や  
事實に於いて文學雜誌界を獨歩するに至る。而も吾人  
の所期尙遠、益々奮うて我黨の宣言を終始すべし。只  
常に本誌の進歩を見る毎に驚愕し周章し、あらゆる毒  
言を放ちて自ら慰むるの徒は、爾後いかなる態度を以  
て吾人に對せんとする乎。一顧の値なしと雖も、空威張  
り、爾よがりの内に自滅すべきを思へば、亦一片哀憫の  
情なきに非ざる也。